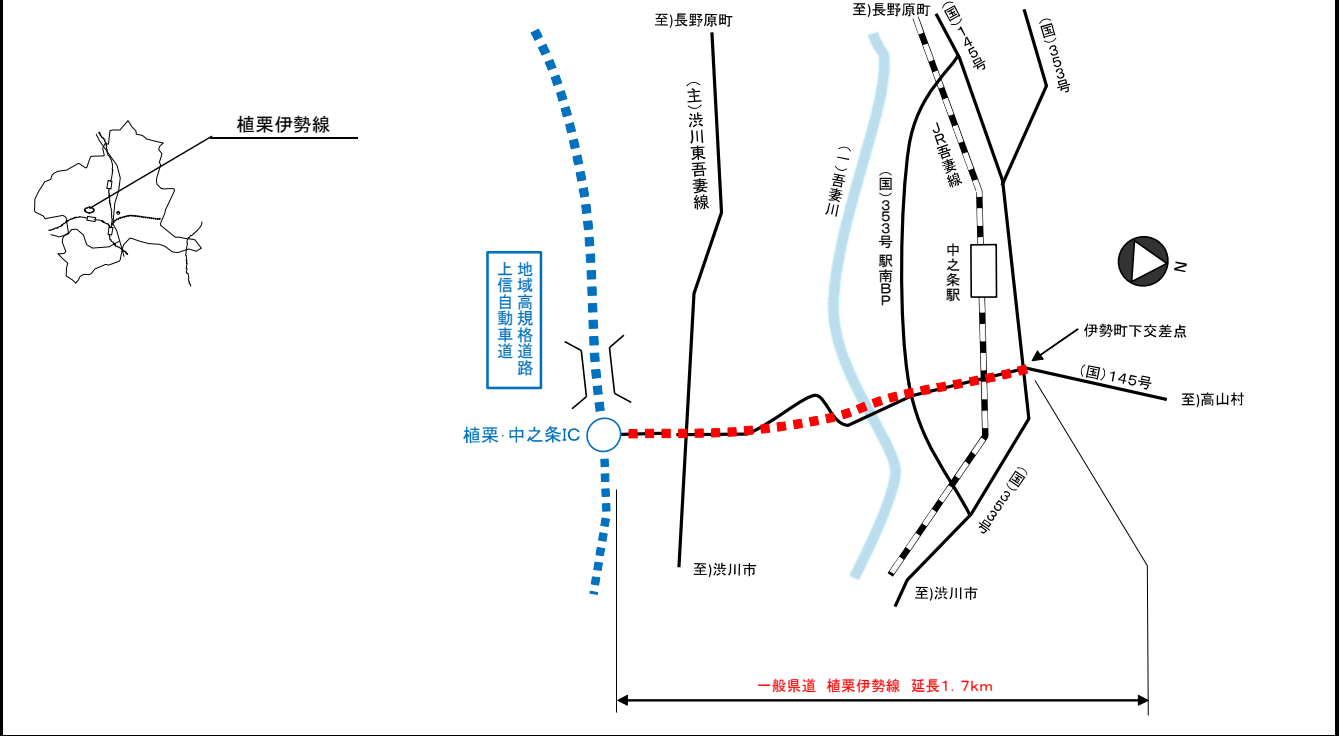


## 再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課  
担当課長名：荒瀬 美和

事業名	地高ICアクセス 一般県道 植栗伊勢線 <small>うえぐりいせせん</small>	事業区分	地方道	事業主体	群馬県
起終点	自：群馬県吾妻郡東吾妻町植栗 <small>あがつまぐんひがしあがつままちうえぐり</small> 至：群馬県吾妻郡中之条町伊勢町 <small>あがつまぐんなかのじょうまちいせまち</small>			延長	1.7 km
事業概要	（一）植栗伊勢線は地域高規格道路である上信自動車道の植栗・中之条インターチェンジから、主要地方道渋川東吾妻線（東吾妻町植栗地内）、吾妻川、国道353号、及びJR吾妻線を横断し、国道145号に至る延長約1.7kmの2車線道路である。上信自動車道の整備に際して、中之条町、四万温泉、高山村方面への重要なアクセス道路となる。				
H25年度事業化	H6年度都市計画決定	H29年度用地着手	H30工事着手		
全体事業費	45億円	事業進捗率	約42%	供用済延長	— km
計画交通量	8,300台/日				
費用対効果分析結果	B/C： （事業全体）1.2 （残事業）2.2	総費用： （残事業）/（事業全体） 23/41億円 （事業費：21/39億円 維持管理費：1.5/1.5億円）	総便益： （残事業）/（事業全体） 50/50億円 （走行時間短縮便益：44/44億円 走行経費減少便益：4.7/4.7億円 交通事故減少便益：2.0/2.0億円）	基準年：	令和2年
感度分析の結果	（事業全体）交通量：B/C=1.1~1.4（交通量±10%）（残事業）交通量：B/C=2.0~2.4（交通量±10%） 事業費：B/C=1.2~1.3（事業費±10%） 事業費：B/C=2.0~2.4（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.1~1.3（事業期間±20%） 事業期間：B/C=2.1~2.4（事業期間±20%）				
事業の効果等	・地域高規格道路「上信自動車道」へのアクセス道路であり、吾妻地域（中之条町、高山村）の産業競争力の向上に寄与する。 ・地域高規格道路「上信自動車道」へのアクセス向上により、三次救急医療機関等への搬送時間が短縮される。 ・四万温泉等の観光地へのアクセス性向上が見込まれる。				
関係する地方公共団体等の意見	・当路線が接続する地域高規格道路「上信自動車道」は、渋川市ほか2市4町2村の首長や議会議長等で構成される「上信自動車道建設促進期成同盟会」より、整備促進の要望を受けている。				
事業評価監視委員会の意見	事業継続を妥当と認める。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・上信自動車道吾妻東バイパス2期（箱島IC～植栗・中之条IC）が平成26年に事業化。 ・令和2年6月7日に上信自動車道の一部区間である金井バイパス（L=1.0km）、川島バイパス（L=2.2km）、祖母島～箱島バイパス（L=4.0km）が全線供用した。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	・用地取得率90%、事業進捗率約42%				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・本事業は上信自動車道へのアクセス道路であるが、上信自動車道本線が令和8年度まで事業期間を延伸している。 ・計画の具体化にあたって、地元住民や関係機関との合意形成に期間を要した。 ・今後も地元や関係機関との協力体制のもと、早期供用に向けて事業を推進する。				
施設の構造や工法の変更等	・他工事との工程調整により建設発生土の有効活用を行うなど、着実なコスト縮減に努める。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性・重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

# 事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。